

沖縄県の養豚場でCSF(豚熱(旧称：豚コレラ))の発生が相次いで確認されています！

3月12日、沖縄県うるま市の養豚場(440頭飼養)で国内58例目(沖縄県では7例目)となるCSF(豚熱)の発生が確認されました。

- ・飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理してから与えて下さい。
- ・飼養場所に立ち入る時は、専用の服や長靴を着用し、念入りに消毒を行ってください。

以下は、ワクチン接種後の注意点です。もう一度確認してください。

- 豚(いのしし)が産まれた場合は約1か月齢で、ワクチン非接種農場から豚(いのしし)を導入した場合には導入後直ちにワクチンを接種する必要があります。
豚(いのしし)の分娩や導入予定がある場合には、事前に当所まで報告して下さい。**また、分娩があった時は、速やかに連絡願います。**
- 豚(いのしし)を移動(出荷)する際には、背中に「V」字の表記が必要です。
豚(いのしし)を移動(出荷)する際には、事前に当所まで報告して下さい。
- 原則として、豚(いのしし)やその排泄物(堆肥)、敷料等は接種区域外へ移動(出荷)することはできません。